

加古川市立志方西小学校
スクールプラン

[学校教育目標]

「豊かな心を持ち、自ら学び、ともに生きる子の育成」

[めざす児童像]

よく考える子（知）

素直で優しい子（徳）

元気で明るい子（体）

[めざす学校像]

子どもと職員の「幸福感」があふれる学校

[重点目標]

<魅力ある授業の創造>

- ① 基礎学力の定着、学力向上を図る授業づくり
- ② 協同的探究学習の推進（わかりやすく楽しい授業、自ら考え、主体的に学ぶ意欲や態度の育成）
- ③ GIGA スクール構想に対応し、ICTを活用した授業づくり

<心の教育の充実>

- ① 道徳教育の充実と推進
- ② 豊かな人間関係づくり（異学年交流、体験活動の推進、いじめ防止、福祉教育の推進）
- ③ 個に応じた適切な支援・指導ができる特別支援教育

<健康で安全な暮らし>

- ① 安全で安心できる学校の創造
- ② 基礎体力の向上
- ③ 体験重視の安全・防災教育
- ④ 感染症予防の徹底

<地域とともにある学校づくり>

- ① 地域の教育力の活用（「ため池」ふるさと学習プログラム等）
- ② ユニットによる校種間連携
- ③ 学校運営協議会との連携強化

[具体的な取組]

- 授業における指導方法改善
 - ・協同的探究学習における「わかる学力」を高める授業スタイルの徹底
 - ・1人1授業での研究授業の実施
 - ・協同的探究学習における「書く活動」がどのように働き、どのような効果があるのか、その有効性について探る
 - ・全教科において言語活動の場を大切に、「ことばの力」を育む
 - ・基礎学力定着に向けた指導方法のあり方（朝のモジュール、少人数学習、複数指導）を工夫し「できる学力」を高める
- 1人1台端末を活用した授業研究の実施、教員のICT活用研修の実施

* 研究の成果をリーフレットで配付。

- 道徳の授業を中心に、児童の心に響く指導に努め、道徳的実践力を高める
- 学級・学校行事に積極的に取り組み、自覚を育み達成感を味わわせる特別活動を推進
 - ・児童会活動をはじめ異学年交流を積極的に実施
- 児童の特性を把握し、共通理解を図り個々を大切に支援に努める。
 - ・「職員会議」での報告、ケース会議。
- 教育相談、保護者との連携を充実させ、問題行動の未然防止に努める
 - ・アセスを活用し、危機意識をもちながら早期発見、早期対応に努める。
 - ・組織対応の体制強化

* 道徳研修会の実施
* 福祉教育体験活動の実施

- 児童の危険予知能力、危機回避能力の育成
 - ・交通安全教室、避難訓練、防犯訓練の充実
 - ・安全点検、危機管理マニュアル活用研修等の更なる充実と徹底
- 体育学習の工夫、外遊びの奨励を通して体力の向上を推進
- 体育的行事の充実と食育の推進
 - ・運動会、マラソン大会、プール指導の充実
 - ・学級指導における食育推進
- 保健指導、生活指導を通して、規範意識基本的生活習慣の定着をはかる
- 感染症予防における「からだの感染」だけでなく「こころの感染」についても全学年で指導

* 親子で学ぶネットトラブル防止講座の実施

- 地域の教育力を活用した『「ため池」ふるさと教育学習プログラム』の推進
- ユニット連携のもと連続した学びと育ちの一層の充実をはかる。
- 学校運営協議会との連携・協働を強化し地域の特色を生かした学校運営を充実させる。
 - ・社会に開かれた教育課程の視点から意義や地域連携をさらに探究
 - ・カリキュラムマネジメント、キャリア教育の視点からも整理
- 学校情報を保護者・地域に発信
 - ・学校だより毎月発行、
 - ・学級だよりの発行
 - ・ホームページ更新（週2回以上）
 - ・39メールの活用

<教職員の育成・学校業務改善>

- ミドルリーダーを核として、OJTや組織としての対応を通して教職員の指導力向上を図る。個々の目標設定のもと、PDCAサイクルで学校経営への参画意識向上を図る。
- タイムマネジメントに対する教職員の意識向上、定時退勤日（毎週金曜日）の徹底

[研究主題]

子どもの心が動く授業の創造 ～協同的探究学習における「書く活動」の有効性を探る～